

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	ユウゲンガイシャゲキダンカゼノコ		団体ウェブサイトURL
	有限会社劇団風の子		https://www.kazenoko.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 菅原武人		
制作団体所在地	〒 192-0152	最寄り駅(バス停)	縄切(バス停)
	東京都八王子市美山町1320-1		
電話番号	042-652-1001		
ふりがな 公演団体名	ゲキダンカゼノコ		団体ウェブサイトURL
	劇団風の子		https://www.kazenoko.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 菅原武人		
公演団体所在地	〒 192-0152	最寄り駅(バス停)	縄切(バス停)
	東京都八王子市美山町1320-1		
制作団体 設立年月	1950年7月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役/菅原武人 副代表/大潤弘幸 事務局長/岡本圭 制作部長/浅野井優子 創造担当/竹添秀憲	【構成員】俳優9名、制作・事務所8名、文芸・演出3名 【加入条件】劇団風の子国際児童演劇研究所卒業者及び一定の経験者、18歳以上の健康な方	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	岡本圭

経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	西川恵美子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	okamoto@kazeoko.co.jp		

制作団体沿革・ 主な受賞歴	<p>1950年7月、子どもの為の専門劇団として創立。以来『子どものいるとどこへでも』を合言葉に、全国を巡演。1983年より全国に地域劇団風の子を発足させる。劇団風の子北海道、劇団風の子中部、劇団風の子関西、劇団風の子九州がそれぞれ法人独立し、現在「有限会社劇団風の子」は首都圏を拠点に活動している。</p> <p>また、児童劇団の全国的な公演活動を受け、1975年に「日本児童演劇劇団協議会(現/日本児童・青少年演劇劇団協同組合)」設立に関わり、劇団創設者の多田徹が1990年まで代表幹事を務めた。多田は1979年には「アンテジ(国際児童青少年舞台芸術協会)日本センター」設立にも関わり、以来現在もこれら統括団体へ理事を送り出している。</p> <p>【受賞歴】「カレドニア号出帆す」都児童演劇コンクール奨励賞・NHK脚本賞・都優秀児童演劇選定優秀賞／「宝のつるはし」都児童演劇祭優秀賞・児童福祉文化奨励賞／「ジョディとフラッグ」都優秀児童演劇選定優秀賞／「小さい劇場」都優秀児童演劇選定優秀賞／「チワノの星」都優秀児童演劇選定優秀賞／「突然の陽ざし」都優秀児童演劇選定優秀賞・斎田喬戯曲賞・文化庁優秀舞台芸術奨励公演／「風の子パザール」都優秀児童演劇選定優秀賞・中央児童福祉審議会特別推薦・厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財／「お祭りどんぶり」都優秀児童演劇選定優秀賞／「ぼくたちの南十字星」都優秀児童演劇選定優秀賞・中央児童福祉審議会特別推薦／「ガヤガヤとムツリのとんじょうび」中央児童福祉審議会特別推薦／「おはなしちんどん」社会保障審議会特別推薦・児童福祉文化賞推薦／「陽気なハンス」日本児童演劇協会賞・厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財／その他多数</p>		
学校等における 公演実績	<p>【2019年度実績】12作品787日919ステージ 【2020年度実績】12作品335日515ステージ*コロナウイルス感染症流行 【2021年度実績】12作品408ヶ所473日799ステージ*密を避けるために日数ステージ数増 【2022年度実績】9作品525ヶ所573日924ステージ*密を避けるために日数ステージ数増</p> <p>【2023年度実績】8作品500日646ステージ *2023年度内訳 ●小学校公演…5作品135日195ステージ とんからり21日28ステージ、ちえんじ・図書室のすきまから26日46ステージ、スクラム★ガッシン38日52ステージ、ソノヒカギリ美術館28日38ステージ、風的一座21日30ステージ、ないしょないしょのしっぽがぼん1日1ステージ ●幼稚園・保育園公演…6作品312日391ステージ ●その他…53日60ステージ</p> <p>【2024年度9/30時点決定数】6作品409日498ステージ *2024年度内訳 ●小学校公演…4作品169日216ステージ とんからり37日50ステージ、ちえんじ・図書室のすきまから86日112ステージ、風的一座7日7ステージ、ソノヒカギリ美術館39日47ステージ ●幼稚園・保育園・その他公演…6作品240日282ステージ</p>		
特別支援学校等における 公演実績	<p>都立南大沢学園／岡山県新見市健康の森学園／宮崎県日南市くろしお支援学校／福島県会津若松市特別支援学校／広島県庄原市特別支援学校／埼玉県日高市特別支援学校／静岡県伊豆の国市東部特別支援学校／青森県青森市青森県立青森若葉養護学校／北海道黒松内町北海道余市養護学校しりべし学園分校／北海道札幌市手稲養護学校／群馬県立沼田特別支援学校／岐阜県立恵那特別支援学校／北海道帯広養護学校／北海道中標津支援学校、など 公演だけでなく、子どもたちの実情に合わせながらのワークショップも多くてがけています</p>		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL *限定公開です	https://youtu.be/yb_ytdmnNqc?si=uudzLvPeRPFxXJIC	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

別添	あり			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 劇団風の子】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	
企画名	地域・遊び・文化・人間 みんなをつなぐ「とんからり」公演			
企画のねらい	<p>子どもたちの本来持っている生命力や想像力を触発し、自分の暮らす土地や周囲の人々への愛情を喚起することをねらいとしています。</p> <p>劇団風の子は、これまで日本全国の子どもたちに芝居を届ける旅公演の中で、各地方の遊びや文化、芸能に触れる機会が多くありました。それぞれの土地に脈々と流れる人々の思いや願いの深さを感じた時、私たちも劇団の拠点である地域に伝わる伝承あそびやわらべ唄、民話、文化、芸能を今一度見直し、掘り起こしたくなりました。そこには、それまで気がつかなかった豊かな伝承文化が根付いていました。</p> <p>「とんからり」はそれらを掘り下げ、演劇として再構築、再創造した作品です。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>●物売り屋さんごっこ</p> <p>・まつりの山車を引いて三人の俳優が登場、おはやしの「地言葉」をロザさみながら遊びはじめます。はじめは物売り屋さんごっこ。昔、物売りと呼ばれる行商の人が街道を行き来していました。唐辛子売り、まゆ玉売り、飴売り、ざる売りなど、三人の俳優が次々と扮してお手玉をしたり、三味線で流行の歌を歌ったり、「足踊り」という芸を披露したりします。</p> <p>・物売り屋さんはものを売るだけでなく、別の地域の遊びやお話、わらべ唄などを他の地域の人々に伝える役割もしていました。伝承あそびやわらべ歌、芸能と共に人と人が関わる楽しさを子どもたちに伝えます。</p> <p>●お芝居「でいだらぼっち」</p> <p>・山が大好きな大男、でいだらぼっちは、渡り鳥から「北の方にでっかくてきれいな山がある」と聞き、たまたまに探しに出かけました。きれいな山(富士山)に一目惚れしたでいだらぼっちは、太ってえ縄を編み、富士山をおんぶして故郷の連れて帰ろうとします。ところが途中で縄が切れ、富士山はごろんごろんと転がって静岡と山梨の境の窪みに腰を落ちて「私、ここが気に入った」と二度と動いてくれませんでした。切れた縄には草木が生え、となったと言われています。でいだらぼっちが切なく流した涙は川になり海へと流れていきました。今でもでいだらぼっちは、時折山々の間から顔を出し、子どもたちとかくれんぼしています。</p> <p>・昔話の奇想天外な視点の物語に触れることで、子どもの発想力が鍛えられ、困難を乗り越えるための創造的な解決策を見つける力となるためにこの作品を選択しました。</p> <p>●雨乞いの唄と舞</p> <p>人々の暮らしは、昔から水との闘いでした。日本全国に雨乞いの呪文や唄、獅子舞が数多く残されています。</p> <p>日々のお恵みと災いをもたらす自然としっかり向き合い、感謝と畏れと敬いの心をもって子どもたちに生きてほしい。そんな願いをこめて、最後は八王子に伝わる「雨乞いの唄」と「龍神の舞」でしめくります。</p> <p>【巡回・集合公演実績】</p> <p>2021年度 東京都墨田区小学校巡回公演4校</p> <p>2022年度 新潟県小千谷市小学校集合公演 東京都墨田区小学校巡回公演5校</p> <p>2024年度 新潟県阿賀野町小学校集合公演、山梨県富士吉田市小学校巡回公演</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>前半の物売りやが登場する場面での共演・参加です。物売りやがやってくるのを楽しみに待っている子どもたちは、物売りが登場するとその周りに集って来ます。</p> <p>①「お手玉」唐辛子売りのお兄さんに教わったお手玉遊びを披露 1個で遊ぶ、2個で遊ぶ、2人～3人のグループで遊ぶ、大勢で遊ぶ。ワークショップでは出来る、出来ないにこだわらず、従来のお手玉遊びではない新たな遊び方を発見して、それを本公演の中で披露します。</p> <p>②「ざる回し」ざる売りのおじさんに色々なざるを借りて一緒に遊ぶ 渡しっこ、投げっこ、ざるを使った「おせんべ焼けたかな」、ざる回しなど。既製のおもちゃではなく、身近にあるものを何でもおもちゃにしてしまう、遊びが生まれる瞬間を演じることとなります。</p> <p>③「わらべ唄」ワークショップで覚えたわらべ唄、あるいは創作したわらべ唄を、①②どちらも歌いながら遊びます。□</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	①お手玉20名程度 ②ざる回し10名程度	
		鑑賞人数目安	150名	
本公演演目	<p>「とんからり」</p> <p>作・構成演出／中島研</p> <p>脚本／金田拓</p> <p>美術・衣裳／小峯三奈</p> <p>音楽監修／曲尾友克</p> <p>民俗考証／笠井玲子</p> <p>制作／浅野井優子</p> <p>協力／美山町鯉獅子舞保存会、宮下囃子保存会</p>			
原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>公演時間 60 分</p>			

出演者	井部直人、金田拓、村井昌世(予定)						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>演出:中島研 1947年東京生まれ。1970年劇団風の子入団。1980年劇団風の子「サンちゃんの海・アニメイム」初演出。以来現在まで子どもの視点に立った実験的な作品を創り続けている。また海外での活動も多く、演出作品が高い評価を得ている。2006～2019年劇団風の子国際児童演劇研究所所長。2023年演出作品「ギャングエイジ(劇団風の子中部)」児童福祉文化賞受賞。</p> <p>出演:金田拓 1961年東京生まれ。1979年劇団風の子国際児童演劇研究所入所。1980年劇団風の子入団。以来多数の作品に出演。2012年～2018年劇団風の子代表取締役役に就任。2020年「とんからり」初演から関わり、脚本にも携わっている。</p> <p>音楽:曲尾友克 1964年群馬生まれ。1983年より作曲・編曲・エンジニア・プログラマーとして音楽活動を開始。国内外のレコーディングや邦楽界の演奏家とのコラボレーションに参加。音楽ソフトウェアの制作も行っている。1986年より舞台音楽を手がけ、舞台、児童演劇、舞踏なども含め、演劇の世界においても100本以上の作品を制作。</p>						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 3 名 スタッフ: 1 名 <hr/> 合計: 4 名			運搬		積載量: 1 t 車長: 4.7 m 台数: 1 台	
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	6:30	6:30～9:00/9:00～10:30(ワーク)		11:10～12:15	なし	13:30～15:00	15時30分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月		7月		8月		9月
	11日		9日		0日		0日
	10月		11月		12月		1月
	0日		0日		0日		10日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計	

山車と
ろうけつ染めの幕



お芝居
「でいだらぼっち」

獅子舞と龍の舞



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否		該当なし	該当コンテンツ名	内部保有
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況	

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団風の子 】

ワークショップのねらい	<p>・お手玉もざる回しも、達成感を得ることで、自己肯定感が上がり、新しい課題に積極的に挑戦できる自信が生まれることがねらいです。コミュニケーション能力の向上にもつながります。</p> <p>・お手玉遊びには、子どもの心を耕す要素がたくさん含まれています。最初なかなかうまくいかなくても、繰り返しやる中で自分自身との対話が始まり、コツをつかむことができます。そして二人、さらに皆で輪になってやるお手玉では、相手を取りやすい玉を投げる工夫をするために他者との対話が生まれます。</p> <p>・ざる回しはじめは難しいけれど、一度コツをつかむと棒の上で安定して回りはじめ、いろいろな大きさのざるや四角いざるにも挑戦したくなります。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	①お手玉20名程度 ②ざる回し10名程度
ワークショップ実施形態及び内容	<p>事前に各学校に作品資料とワークショップの内容と目的、準備していただくものなどの明細を送ります。事前に参加学年を決めていただきます。</p> <p>【所要時間2時限(休憩をはさんで行います)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団員の自己紹介 ・簡単に心と身体をほぐすアイスブレイク ・本公演の参加場面の説明 <p>①お手玉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1個で遊ぶことからはじめ、手になじんできたら2個で遊ぶ。 ・2～3人でお手玉の渡しっこ。 ・人数を増やして輪になり、わらべ唄を歌いながら隣の人に渡しっこ。落とさないための工夫を話し合う。 ・新たな遊び方を考えやってみる。 ・お手玉遊びのわらべ唄を覚え、歌に合わせて遊ぶ。 <p>②ざる回し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹の棒を使ってざる回し。ざるの他にも身近にある紙コップ、空き容器、空箱など色々回して遊ぶ。 ・ざる回しのわらべ唄を覚え、歌に合わせて回す。 <p>③リハーサル</p> <p>お手玉グループ、ざる回しグループに分かれリハーサルをし、お互いを見合う。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校等で実施する場合は子どもたちの状況を学校と綿密に事前打ち合わせを行い、可能な限り子どもたちのペースに合わせたものに改良していきます。 ・参加人数はあくまでも理想です。多い場合、少ない場合はよく打ち合わせて丁寧に進めます。 <p>●わらべ唄と方言</p> <p>実施校の地域に伝わるわらべ唄や教え唄、または方言などがあれば事前に教えていただき、子どもたちが参加する場面のわらべ唄にそれを取り込んで、本番でもそれを歌いながら遊べるよう構成します。各地域の郷土学習の動機づけにつながることもねらいです。</p>		

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

劇団風の子

】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>全ての児童青少年が、居住している地域、家庭の経済事情、学校の規模などに左右されることなく、豊かに文化芸術を享受する機会に恵まれることを趣旨としている本事業は非常に高い評価を得ています。実施した学校では、子どもたちはもちろん、先生方、保護者にも感動を与え、その後学校内での演劇鑑賞教室を実施する学校も増えています。</p> <p>劇団風の子は1950年から一貫して先生方と共に、学校内における演劇鑑賞教室を広げてきました。全国を視野に入れた展開ですが、拠点である首都圏を見ると、もともと演劇鑑賞教室の実施が広がった1990年代に比べ現在の実施率は45%を切る状況です。本事業を生かし、教育委員会、教育事務所、校長会、PTAなどに働きかけ、演劇鑑賞教室の回復を強く求めていると思います。劇団風の子は制作部員も多く、ていねいできめ細かな仕事ができると自負しております。</p> <p>本事業により、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としております。又、少子化により小規模校も増えていますが、それを力として、保護者、祖父母の三世代で鑑賞する機会をふやし、家庭、地域での豊かな感情の育成にも役立てたいと思います。上記のこの実現のために、本事業に申請します。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>・事前に 作品資料、ワークショップ内容の説明、準備していただくものの明細を送付します。その後、電話でお送りしたものを確認し、打合せの日程を決めます。 打合せに伺い、担当の先生と、公演当日のワークショップと公演の進行、客席のづくり方など丁寧な打ち合わせを行います。 (打合せは電話のみでも可能です。学校のご都合に合わせて調整します。)</p> <p>・当日 舞台準備後、子どもたちとワークショップを行います。 まず、公演全体の流れを説明し、その中でとても大事な場面を受け持っていただくことを伝え、子どもたちの期待感を高めます。</p> <p>その後、2グループに別れて(お手玉チームとざる回しチーム)練習をします。かぎられた時間内に上達するのはなかなか難しいですが、成功しても失敗しても「楽しむ」ことが目的です。本番の流れも確認します。 ワークショップはのびのびと楽しんで、子どもたちの発想や意見を生かせるよう進めます。</p>
--	---

別添	なし
C区分で事業を実施するに当たっての工夫	【公演団体名 劇団風の子】
C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p>①離島・へき地等における公演実績</p> <p>2024年度「ソノヒカギリ美術館」5公演 2023年度「ソノヒカギリ美術館」2公演 2022年度「ソノヒカギリ美術館」7公演 2021年度「ソノヒカギリ美術館」2公演 2020年度「風の子バザール」1公演 2019年度「風の子バザール」4公演 2018年度「スクラム・ガッシン」7公演／「ペコと秘密の樹」4公演／「おはなちんどん」9公演／ 「風の子バザール」2公演／「小さい劇場B」4公演／「風的一座」3公演 2017年度「小さい劇場C」8公演／「風的一座」11公演／「スクラム☆ガッシン」1公演 2016年度「おまつりびーひやらどん」5公演／「風の子バザール」14公演／「小さい劇場A」2公 演／「小さい劇場C」4公演 2015年度「小さい劇場A」8公演／「陽気なハンス」1公演／「なんかよーかい」1公演 2014年度「風の子バザール」4公演／「陽気なハンス」15公演</p> <p>②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p><離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫> ・島の場合、漁船やチャーター船、定期船など、島に応じて利用します。 ・舞台道具をコンパクトにまとめる工夫をして、人と道具はワゴン車一台で運搬移動します。</p> <p><小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫> ・本物のろうけつ染めの迫力ある3枚の幕が舞台を飾ります。小ぶりながらも本格的な山車が舞台装置として重要な役割を果たします。 ・三味線、太鼓、笛、鉦、効果音も含めすべてが生演奏です。 ・わらべ唄、民話、神話、芸能は綿密なフィールドワークに裏打ちされたものです。 ・獅子舞と雨ごいの唄、芸能(足踊り)は地元の「美山町獅子舞保存会」「宮下囃子保存会」の協力を得て演じています。 ・出演者の一人は本作の脚色も手がけている在団40年のベテラン俳優で、本編の中心を担い、子どもたちを最後まで惹きつけます。 ・ワークショップの講師は、本作の構成演出であり、子どもたちとの表現ワークショップや劇づくり、先生方に向けた講座も数多く手がけています。</p> <p>③C区分応募における、費用面の工夫</p> <p><経費削減の工夫> ・ワークショップと本公演を同日開催にすることで派遣費を削減します。 ・ベテランのキャストとスタッフを派遣することで、少人数でも質の高いワークショップと公演が実施可能となります。 ・芝居の仕込み、バラシ、車の運転をキャスト、スタッフが兼ねることで旅費を削減します。</p>

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2

【公演団体名 劇団風の子】



公演に係るビジュアルイメージ

